



# 九遊商 ニュース No.2

## 証紙発行枚数で見ると中古機流通の役割

全国遊技機商業協同組合連合会（全商協）が、中古機流通10周年を迎えたことを契機に広報誌「全商協」(季刊)を発行することになりました。今回の九遊商ニュースは1月に発行された創刊記念号から「証紙発行枚数で見ると中古機流通の役割」を抜粋してホール経営に携わる皆さんにお届けします。

### 20年で飛躍的に伸びた 証紙発行枚数

全国遊技機商業協同組合連合会（略称・全商協）が協同組合として認可を受けたのは1989年。その翌年である1990年度に中古機パチンコ向けに発行された証紙枚数（台数）は38万枚でした。  
（図1 確認証紙発行枚数の推移）

その後、中古機向けの証紙発行枚数は年により増減はあるものの増加を続け、2008年には177万枚と1990年と比較すると4.7倍にも及んでいます。それだけに全商協傘下の組合企業の方々のパチンコ業界における役割は重要になってきています。

### 日工組の証紙発行枚数の5割に及ぶ

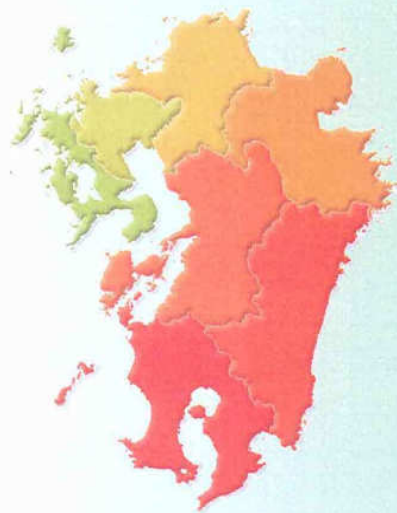
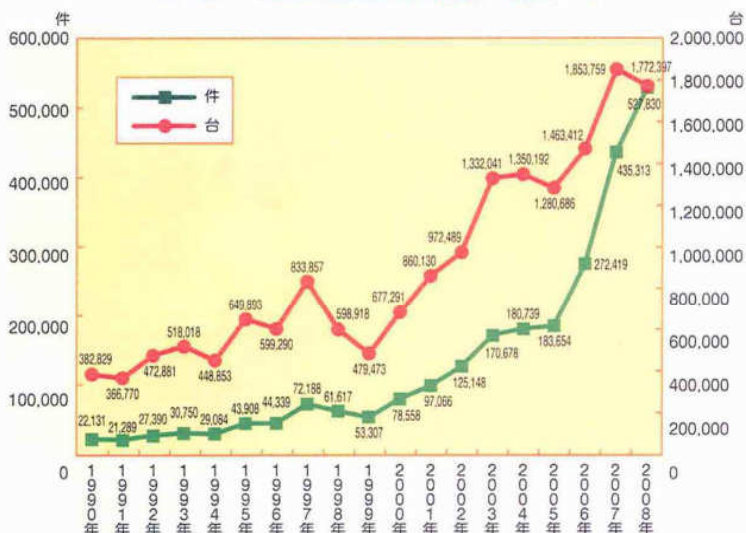
その重要性の変化について、日本遊技機工業組合（略称・日工組）が新台製造時に発行する証紙枚数と比較してみましよう。

1990年当時の日工組の証紙発行枚数は263万枚。全商協の発行枚数はその13%程度でした。

ところが、2008年の日工組の発行枚数は344万枚でしたので、全商協の発行枚数はその51%の規模にまでなっています。

また、日工組の証紙発行枚数は1990年と2008年を比較すると17%増です。

● 図1 確認証紙発行枚数の推移 ●



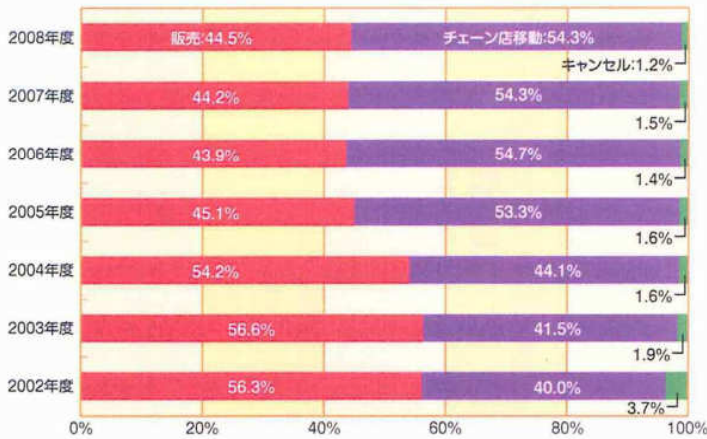




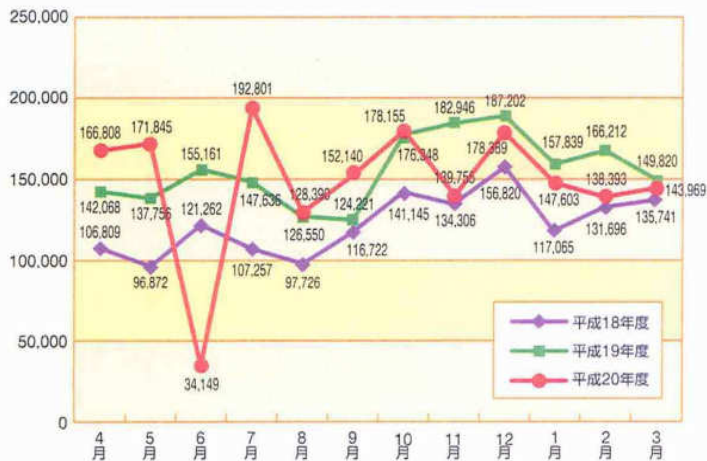
● 図2 日工組証紙発行枚数 ●



● 図3 証紙発行枚数内訳 ●



● 図4 月別確認証紙 ●



中古機の活用は、環境配慮のキーワードである3Rのリユース(再利用)にもつながるものです。鳩山首相がニューヨークの国連総会で温室効果ガスを25%削減することを宣言するなど、世の中は省エネ、省資源志向になっています。このような社会の要請にも沿っている中古機流通は今後もその役割は重要になっていくことでしょう。

その増加の状況にも大きな違いが見られます。  
**チェーン店移動も増え、活用方法も多様に**  
一方、全商協の証紙発行枚数は1998年、1999年に落ち込んだ後は、2000年に販売会社主導の「新中古機流通システム」が開始したこともあり、急速に増加を続けます。  
2005年は人気機種の不均衡で中古機流通がしばらく停止していたことにより、前年よりやや枚数を減少させます。

## 高いリユースへの期待も

また、証紙発行枚数の内訳(図3

しかし、その後も発行枚数を増やし続けます。  
2008年は6月に洞爺湖サミットへの協力で、入替が行われなかったため、前年に比較して発行枚数は抑えられました。それでも、1995年と比較すれば177万枚と大幅に増加しています。最近のパチンコ店が入替コストを削減するために中古機を活用していることがうかがえます。

証紙発行枚数内訳をみると、チェーン店移動による利用は2005年度に50%を超え、以降も増加

このデータから売買だけでなく、自社チェーン内で中古機を有効活用していることが分かります。し続けています。

## 3R

3R(すりーあー)とは、下記の3つのキーワードの頭文字に由来する資源の有効活用に関する言葉。

### Reduce リデュース

●ごみを減らす

### Reuse リユース

●再使用

### Recycle リサイクル

●再資源化

資源活用の優先順位についても

- 1.リデュース(ごみの発生抑制)
- 2.リユース(再使用)
- 3.リサイクル(再資源化)

の順で取り組むべきとされている。

[協力]株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所